

発行者

北海道へき地・複式教育研究連盟
www.hamanasu.com./doheki

委員長 柿崎 秀 顕

編集責任者 長谷川 孝

印刷所 株式会社ビジネスサポート

虻田郡豊浦町字東雲町48-18 TEL0142-82-3313

題字 書家 濱谷 彩鶴 (はまや さいかく) 氏

多くの先達が築き上げてきた歴史と 伝統をもつ本連盟の財産を生かして

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長 柿崎 秀 顕



平成29年度の総会において、委員長に選出されました胆振管内むかわ町立富内小学校の柿崎秀顕でございます。

はじめに、今年度で退任された役員の皆様のへき地・複式教育に対する熱意と尽力に深く感謝申し上げます。

また、強いリーダーシップで本研究連盟のみならず、全国の研究連盟を牽引されてきた田中委員長の後任に私が委員長を引き受けることになり、その重責に身が引き締まる思いです。

さて、新学習指導要領の改正の概要には、『知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の実現』が上げられています。

このことは、一つの側面として、指導側が、単に何を教えるのかではなく、どのようにして教え学ばせるのかということに重点を置くことになり、その手法としては、児童生徒に学び方を身につけさせる訓練をして、自分たちだけで、答えや課題を教え合い、見つけ合ったりして考えを深めていくという、複式学級の授業実践も大いに有効ではないかと強く感じております。

新学習指導要領の本格実施を考えたとき、

本研究連盟が、このような複式教育の手法や理論の研究を積み重ねてきたことは、大きな財産の一つではないかと考えております。

また一方では、今年度の第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会は、第9次長期5か年計画の4年目として、さらに、十勝大会から始まった「全体会」「分散会」そして授業を公開する「分科会」というスタイルの大会の形もあわせて検証していかなければならない、まさに評価・発展の時期を迎えている重要な大会でもと考えております。

本年度も多くの先達が築き上げてきた歴史と伝統をもつ本研究連盟の財産を生かし、今日的学校教育の課題はもちろん、へき地・複式校が抱える課題解決に取り組むために、本研究連盟役員一丸となって取り組んでまいりますので、全道の会員、各地区役員の皆様のご協力をお願いいたします。

おわりに、北海道教育委員会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道立教育研究所、北海道教育大学、道へき・複連OB会など、関係機関の皆様にも、今後も本研究連盟活動充実のために、ご理解、ご支援くださいますようお願い申し上げます。道へき・複連情報159号発行に当たってのご挨拶といたします。

平成29年度 定期総会の概要

5月12日(金)、ホテルライフオート札幌において、平成29年度北海道へき地・複式教育研究連盟の定期総会を全道14地区から代議員の出席を得て開催しました。

この総会にご来賓として、北海道教育庁学校教育局 指導担当局長 岸 小夜子様をはじめ、北海道小学校長会、北海道中学校長会など3名のご臨席をいただきました。

総会は、上川・宗谷地区の温泉・松田両代議員を議長に選出し、次第にそって進められました。

また昨年を引き続き、後半に役員・代議員を対象とした研修会を開催しました。

◇主な総会内容◇

1. 業務報告

(1) 平成28年度会務報告

①事務局 (会務報告、一般経過報告、その他)

②総務部 ③研究部 ④大会部 ⑤財政部

(2) 平成28年度組織検討委員会報告

(3) 平成28年度会計決算報告

(4) 平成28年度会計監査報告

2. 議事

(1) 平成28年度各部会務報告承認に関する件

(2) 平成28年度会計決算報告並びに監査報告承認に関する件

(3) 平成29年度活動方針並びに各部活動計画について

①事務局 ②総務部 ③研究部

④大会部 ⑤財政部

(4) 平成29年度会計予算に関する件

(5) 第66回全道へき地複式教育研究大会 釧路大会について

(6) 第67回全道へき地複式教育研究大会 後志プレ大会について

3. 感謝状贈呈

本連盟の活動に貢献されました方々に感謝状が贈呈されました。

委員長	田中 和敏 氏
大会部長	岩崎 透 氏
監査委員	田中 淳一 氏
"	清水 敏文 氏
事務局次長	伊藤 孝一 氏
研究推進委員	岡山 宏文 氏
"	小中 憲雄 氏
"	安田 彰浩 氏
"	合掌 浩孝 氏
"	浅野 孝一 氏
"	小野 祥秀 氏

平成29年度 活動方針・各部計画

◇◇◇ 基本方針・具体的内容 ◇◇◇

1. 「へき地性」「小規模性」「複式形態」の3特性を生かした教育の充実を図るための研究活動をより一層強力に推進する。

- (1) 第9次長期5か年研究推進計画4年目の研究に取り組む。
- (2) 課題別・共同研究の深化と拡充に努める。
- (3) 第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会の成功に向け取り組む。
- (4) 第67回全道へき地複式教育研究大会後志プレ大会の取組を推進する。
- (5) 全道、各地区の研究成果を還流する。

2. 組織の強化と充実に努める。

- (1) 各地区へき・複連との連携、組織の強化を図る。
- (2) 事務局業務の効率化と情報・要請活動の活発化を図るとともに、組織体制の改善について検討する。
- (3) 各部活動の連携を密にして、執行体制の見直しを図り、その強化に努める。
- (4) 未加盟校及び非複式のへき地小規模校の加盟促進を図る。
- (5) 組織検討委員会を継続設置し、組織体制の改善・財政上の諸課題の解決を図る。
- (6) 適切な予算執行に努める。
- (7) 連盟OB会等との連携を図る。

3. 教育条件の整備と拡充に努める。

- (1) へき地・小規模・複式学級を有する学校の一層の条件整備を進める。
- (2) 教職員の待遇改善を図る運動を進める。
- (3) 新へき地学校等級別指定に関わる調査・要望活動を進める。
- (4) へき地・小規模・複式学級を有する学校及び地域の課題等の実態把握に努め、その対策について検討を進める。

4. 関係機関・関係団体との連携を一層強化する。

- (1) 北海道教育委員会、北海道立教育研究所、道小、道中、学校地域教育研究支援センター、道教育大学各校、全へき連、道へき・複連OB会、道P連等との連携を密にして、研究活動の深化や条件整備、待遇改善に努める。
- (2) 「全国へき地教育新聞」への寄稿、購読拡大に協力する。
- (3) 各関係機関、関係団体との成果、資料の交流を図る。

平成29年度 諸会議・事業一覧

月	日	曜	会議・事業等
5	12	金	平成29年度定期総会 第1回組織検討委員会 第1回常任委員会
	13	土	道へき・複連OB会総会
	22	月	第1回企画委員会
	22・23	月・火	第1回研究推進委員会
6	1	木	全へき連春季総会
	2	金	全へき連第1回理事会
	13	火	道へき・複連情報159号発行
	29	木	第2回常任委員会
7	10	月	第2回企画委員会
	10・11	月・火	第2回研究推進委員会
	27・28	木・金	全へき連第2回理事会
	28	金	全へき連第1回図書編纂委員会
8	3	木	第3回常任委員会
			第2回組織検討委員会
9	20	水	第4回常任委員会 第3回企画／研究推進委員会 第1回監査委員会
	21	木	評議委員会
	21・22	木・金	第66回全道へき地複式教育研究 大会釧路大会
	29	金	第67回全道へき地複式教育研究 大会後志プレ大会
10	31	火	全へき連第3回理事会/秋季総会 道へき・複連情報160号発行
11	1・2	水・木	第66回全へき研高知大会
	29	水	全へき連ブロック代表者会議 (第4回理事会)
	30	木	第43回全へき連研究推進協議会
12	1	金	全へき連第2回図書編纂委員会
1	18	木	第5回常任委員会 第3回組織検討委員会
	26	金	全へき連第3回図書編纂委員会
2	13	火	道へき・複連情報161号発行 第4回企画委員会
	13・14	火・水	第4回研究推進委員会
	15・16	木・金	全へき連第5回理事会
5	10	木	第6回常任委員会 第2回監査委員会
	11	金	平成30年度定期総会

1. 情報関係活動計画

(1) 方針と重点

道へき・複連の活動状況の周知と会員の意思疎通を図るため、へき地・複式教育の糧となる情報「道へき・複連情報」を発行するとともにホームページの内容充実努める。

- ① 執筆者に負担とならないよう配慮する。
- ② 年3回発行し、連盟の活動と全道の研究の様子が伝わる情報紙になるよう工夫する。
- ③ ホームページの内容充実と有効活用を図る。

(2) 活動計画

- ① 道へき・複連情報159号の発行
 - ・発行日 平成29年6月13日(火)
 - ・内容 平成29年度総会特集、釧路大会後志プレ大会
- ② 道へき・複連情報160号の発行
 - ・発行日 平成29年11月14日(火)
 - ・内容 第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会特集
- ③ 道へき・複連情報161号の発行
 - ・発行日 平成30年2月13日(火)
 - ・内容 平成29年度 活動報告特集

2. 全国へき地教育研究連盟関係

(1) 方針と重点

本道のへき地・複式教育は全国のへき地・複式教育の先進地であり、全国の研究を支える気構えで連携を保ち、北海道のへき地・複式教育を全国に発信する。平成11年から、全へき連業務の一部を引き継ぎ「全国へき地教育新聞」の購読拡大、原稿執筆依頼等の業務を遺漏のないように推進する。

(2) 活動計画

- ① 「全国へき地教育新聞」購読拡大の取組
- ② 「全国へき地教育新聞」原稿執筆依頼業務の取組

【原稿種別】

- ・論評(市町村教育長、各局指導主事等)
- ・山紫水明(校長)
- ・随想(教頭、教務主任、学級担任等)
- ・心温まる話(どなたでも)
- ・私の推薦する一冊の本(校長、教頭他)
- ・やすらぎ保健室(養護教諭)
- ・さわやか事務室から(事務職員)
- ・わが町・わが学校(保護者)
- ・研究実践校紹介(実践校)
- ・子どもたちの学校紹介・子どもたちの作品

総務部

1 方針

道へき・複連の目的に沿って、各地区へき地・複式教育研究団体の活動を促進し、関係団体との連携を密にする。また、調査活動の充実を図り、道へき・複連の組織強化と適正な運営に努め、本道へき地・複式教育の振興に寄与する。

2 活動内容

- ①各地区との連携
- ②へき地教育に関する調査
 - *全へき連基本調査への協力
- ③道へき・複連独自調査の実施
 - *へき地・小規模・複式校における課題と対策に関わる調査
- ④陳情、要請活動
 - *全へき連、道教委、道研、地教委 等
- ⑤関係機関との連携
- ⑥道へき・複連組織に関わる課題検討
- ⑦その他、各部に属さないこと

3 具体的活動

- (1) 全へき連関係
 - ①全へき連との連携を密にし、組織強化と研究推進に関して、道へき・複連の要望が生かされるように努める。
 - ②へき地・複式教育の条件整備と待遇改善の取組をより強化し、本道の実態に即した振興策に反映するよう努める。
 - ③定数改善（専任教頭及び養護教諭、事務職員全校配置）に向けて、陳情、要請活動を関係機関・団体に対して強く行う。
 - ④全へき連基本調査への協力
 - *実態・根拠に基づく条件整備の実現に向けて
- (2) 道へき・複連関係
 - ①組織の活性化、加盟促進を目指し、へき地複式教育や道へき・複連の活動についての情報提供・交流に努める。
 - ②組織検討委員会を設け、道へき・複連の組織上の問題、全へき連負担金納入の適正化等についての検討を行う。
 - ③関係機関・団体との連携・協力を一層強化する。
 - *道教委、道小、道中、道研、道教大 学校・地域教育研究支援センターへき地教育研究支援部門、道P連等
 - ④未加盟校のある地区の実態を考慮しながら加盟促進を図る。
 - ⑤地域の課題とその対策等の調査を実施する。
 - ⑥へき地指定級見直しを視野に入れ、道教委の動きを注視し、関係機関・団体との連携を図る。
- (3) その他
 - ①道へき・複連事務局や各地区との連携を図り、事業の推進に努める。
 - ②道小理事研修会に出席し、道小と道へき・複連との連携を図る。

研究部

1. 研究主題

「主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましくふるさとを切り拓く子供の育成」

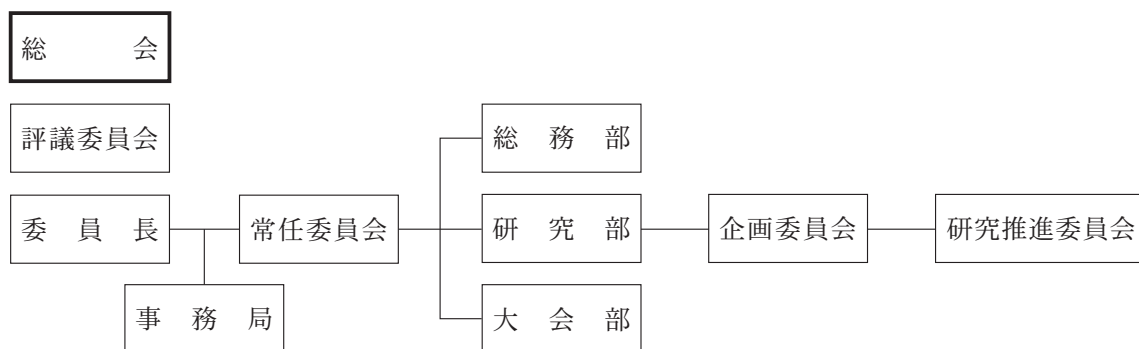
～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

2. 活動の重点及び具体的活動内容

第9次長期5か年研究推進計画の4年次として、確かな実践研究をし、地域に根差した魅力ある教育活動を推進する。さらに指導目標の設定、指導過程や教材の工夫、学習活動における支援、評価方法の工夫等に努め、第9次長計4年次としてのまとめを行う。

- (1) 共同研究体制の強化と実践研究の充実
 - ① 研究推進委員長を中心とする研究体制の確立
 - ② 研究推進委員会、企画・策定委員会の運営
 - ③ 各地区へき・複連研究活動への協力
 - ④ 未加盟校・小規模中学校への共同研究呼びかけ
- (2) 全道へき地複式教育研究大会、プレ大会の効果的な開催
 - ① 第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会の開催
[平成29年9月21日(木)・22日(金)]
 - ・準備、運営等に関する協力と支援（共同研究者）
 - ・分散会の企画・運営
 - ② 第67回全道へき地複式教育研究大会後志プレ大会の開催
[平成29年9月29日(金)]
 - ・準備、運営等に関する協力と支援（共同研究者）
- (3) 第9次長期5か年計画研究推進計画における啓発と実践記録の累積・収集活動
 - *地区へき・複連実践研究資料の蓄積と還流
- (4) 研究資料の編集と発行
 - ① 道へき・複連「研究部情報」の発行（年2回）
 - ② 道へき・複連「研究主題一覧・指導形態調査」の作成（メール送信）
 - ③ 全国へき地教育研究連盟発刊図書への協力
- (5) 教育関係各機関・団体との連携
 - ① 北海道教育委員会・各教育局との連携強化
 - ② 北海道立教育研究所、各地区教育研究所、北海道教育大学 学校・地域教育研究支援センターへき地教育研究支援部門との連携
 - ③ 全国へき地教育研究連盟との連携
 - ア 全へき連図書編纂委員会への参加
 - イ 全国へき地教育研究推進協議会への参加
 - ウ 第66回全国へき地教育研究大会高知大会への参加
- (6) 道へき・複連第10次長計の策定に向けての資料収集と原案完成

☆北海道へき地・複式教育研究連盟の組織



平成29年度 北海道へき地・複式教育研究連盟 役員名簿

役職名	氏名	地区	学校名	電話番号
委員長	柿崎秀顕	胆振	むかわ町立富内小学校	0145-46-6036
副委員長	総務部	温泉敏	上川美瑛町立美馬牛小学校	0166-95-2113
	研究部	岡嶋治	浜中町立浜中小学校	0153-64-2023
	大会部	今井直史	釧路町立知方学小学校	0154-61-8335
監査委員	下川徳久	日高	新ひだか町立東静内小学校	0146-44-2005
	織茂竜二郎	十勝	鹿追町立笹川小学校	0156-66-3505
財政部長	辻崎洋一	石狩	千歳市立駒里小中学校	0123-23-3237
事務局長	古田統	後志	ニセコ町立近藤小学校	0136-44-2852
事務局次長	長谷川孝	空知	深川市立多度志小学校	0164-27-2005

平成29年度 各地区へき・複連 委員長／事務局長

地区	委員長(会長)		事務局長		
	氏名	学校名	氏名	学校名	電話番号
石狩	河村英俊	千歳市立東小学校	簗島裕二	石狩市立浜益小学校	0133-79-3124
空知	坂下恵一	深川市立納内小学校	的場孝仁	深川市立納内小学校	0164-24-2602
後志	山本康博	蘭越町立昆布小学校	木村明彦	積丹町立野塚小学校	0135-45-6009
渡島	澤田晶	七飯町立東大沼小学校	井上嗣仁	森町立尾白内小学校	01374-2-2389
檜山	能代仁	乙部町立明和小学校	間宮真一	せたな町立若松小学校	0137-85-1014
胆振	角田拓	室蘭市立喜門岱小学校	加藤久司	伊達市立大滝小学校	0142-68-6915
日高	小泉卓真	新ひだか町立静内小学校	下川徳久	新ひだか町立東静内小学校	0146-44-2005
上川	有倉和彦	上富良野町立東中小学校	遠藤友文	幌加内町立朱鞠内小学校	0165-38-2053
留萌	石田正樹	留萌市立港北小学校	小柳豊	小平町立鬼鹿小学校	0164-57-1160
宗谷	松田孝一	豊富町立兜沼小中学校	石澤正紀	稚内市立宗谷小学校	0162-77-2010
オホーツク	三上晃一	佐呂間町立若佐小学校	山田浩	滝上町立濁川小学校	0158-29-2319
十勝	織茂竜二郎	鹿追町立笹川小学校	高瀬悟史	本別町立仙美里小学校	0156-24-2120
釧路	今井直史	釧路町立知方学小学校	岩崎等	標茶町立沼幌小学校	015-488-4231
根室	佐藤睦子	別海町立上風連小学校	岩崎摂也	根室市立厚床小学校	0153-26-2141

平成28年度 北海道へき地・複式教育研究連盟一般会計 決算報告

平成29年3月31日現在

【収入の部】

※増減は予算比

項目	平成28年度予算	平成28年度決算	増(▲)・減(△)	備考
会費	3,307,044	3,344,628	▲ 37,584	平成28年度加盟校251校,加盟会員1578名
繰越金	121,543	121,543	△ 0	平成28年度繰越金
繰入金	1,000,000	1,000,000	△ 0	運営資金会計から (釧路プレ研・本研分含む)
雑収入	363	589	▲ 226	預金利息
合計	4,428,950	4,466,760	▲ 37,810	

【支出の部】

※増減は予算比

項目	平成28年度予算	平成28年度決算	増(▲)・減(△)	備考
1. 研究大会費	510,000	510,000	△ 0	※釧路大会・プレ大会 51万
1. 謝金	80,000	80,000	△ 0	大会分散会発表者旅費
2. 旅費	245,000	245,000	△ 0	大会役員旅費
3. 借料損料	10,000	10,000	△ 0	大会会場借料
4. 印刷製本	130,000	130,000	△ 0	大会開催要項、案内状
5. 通信運搬	45,000	45,000	△ 0	郵券、電話料、送料
2. 研究調査費	1,850,000	1,873,990	▲ 23,990	
1. 旅費	1,830,000	1,858,990	▲ 28,990	企画委員会、研究推進委員会
2. 印刷製本	10,000	5,000	△ 5,000	用紙代、カセット/CD-R代
3. 通信運搬	10,000	10,000	△ 0	連絡用郵券、送料
3. 研成刊行費	700,000	700,000	△ 0	※釧路大会・プレ大会 40万
1. 印刷製本	675,860	677,500	▲ 1,640	研究紀要、研究収録、『情報』誌
2. 通信運搬	24,140	22,500	△ 1,640	『情報』誌送料
4. 事務局費	1,368,950	1,101,253	△ 267,697	
1. 旅費	1,150,000	929,000	△ 221,000	総会、常任委、組織検討委
2. 消耗品費	8,000	0	△ 8,000	用紙代
3. 通信運搬	30,000	29,030	△ 970	諸会議案内郵券、送料、手数料
4. 借料損料	110,000	89,746	△ 20,254	諸会議会場借料
5. 会計手当	30,000	30,000	△ 0	会計手当
6. 予備費	40,950	23,477	△ 17,473	議案製本,感謝状,名刺,等
合計	4,428,950	4,185,243	△ 243,707	

収入 支出 残金
4,466,760円 - 4,185,243円 = 281,517円

残金については、次年度へ繰り越します。

平成29年度 北海道へき地・複式教育研究連盟一般会計予算案

【収入の部】

※増減は前年度予算比

項目	平成28年度予算	平成28年度決算	平成29年度予算	増(▲)・減(△)	備考
会費	3,307,044	3,344,628	3,282,684	▲ 24,360	平成29年度加盟校244校,加盟会員1554名
繰越金	121,543	121,543	281,517	△ 159,974	平成28年度繰越金
繰入金	1,000,000	1,000,000	800,000	▲ 200,000	運営資金会計から(弘済会分を別項)
助成金			200,000	△ 200,000	弘済会より
雑収入	363	589	359	▲ 4	預金利息
合計	4,428,950	4,466,760	4,564,560	△ 135,610	

【支出の部】

項目	平成28年度予算	平成28年度決算	平成29年度予算	増(▲)・減(△)	備考
1. 研究大会費	510,000	510,000	910,000	△ 400,000	※後志大会・プレ大会 91万
1. 大会運営	500,000	500,000	500,000	△ 0	本大会・プレ大会運営費
2. 印刷製本			400,000	△ 400,000	研究紀要、研究収録
3. 事務局費	10,000	10,000	10,000	△ 0	事務局運営費
2. 研究調査費	1,850,000	1,873,990	1,770,000	▲ 80,000	
1. 旅費	1,830,000	1,858,990	1,750,000	▲ 80,000	企画委員会、研究推進委員会等
2. 印刷製本	10,000	5,000	10,000	△ 0	用紙代、カセット/CD-R代
3. 通信運搬	10,000	10,000	10,000	△ 0	連絡用郵券、送料
3. 研成刊行費	700,000	700,000	302,000	▲ 398,000	※後志大会の40万は研究大会費へ
1. 印刷製本	675,860	677,500	300,000	▲ 375,860	情報誌印刷発送料
2. 通信運搬	24,140	22,500	2,000	▲ 22,140	振込手数料(3回)
4. 事務局費	1,368,950	1,101,253	1,582,560	△ 213,610	
1. 旅費	1,150,000	929,000	1,350,000	△ 200,000	総会、常任委、組織検討委等
2. 消耗品費	8,000	0	10,000	△ 2,000	用紙代等
3. 通信運搬	30,000	29,030	30,000	△ 0	諸会議案内郵券、送料、手数料
4. 借料損料	110,000	89,746	100,000	▲ 10,000	諸会議会場借料
5. 会計手当	30,000	30,000	30,000	△ 0	会計手当
6. 予備費	40,950	23,477	62,560	△ 21,610	議案製本、感謝状、名刺、等
合計	4,428,950	4,185,243	4,564,560	△ 135,610	

平成29年度 道へき・複連 研究推進委員

道へき・複連研究部長 岡嶋 治（浜中町立浜中小学校） TEL 0153-64-2023

地区	役・担当	氏名	学校名	電話番号
石狩		青山 司	石狩市立聚富小中学校	0133-66-3171
空知	研究推進副委員長	岩城 之泰	美唄市立峰延小学校	0126-67-2229
後志		増川 佳子	神恵内村立神恵内小学校	0135-76-5206
渡島		渡邊 聡	八雲町立浜松小学校	0137-62-2462
檜山		佐藤 等	今金町立種川小学校	0137-82-0506
胆振	研究推進委員長	栗田 真	豊浦町立大岸小学校	0142-84-1011
日高	学校・学級経営部長	中山 英明	えりも町立笛舞小学校	01466-2-2652
上川	研究推進副委員長	伊端 俊紀	名寄市立中名寄小学校	01654-2-3889
留萌	学習指導部長	早坂 康	天塩町立啓徳小学校	01632-4-3350
宗谷		小島 康秀	枝幸町立音標小学校	0163-66-1073
オホーツク		天野 昌明	北見市立上仁頃小学校	0157-33-2312
十勝		橋本 知洋	豊頃町立大津小学校	015-575-2020
釧路		佐藤 健二	釧路町立昆布森小学校	0154-63-2613
根室		古森 康晴	別海町立中西別小学校	0153-75-6628

役員・代議員研修会

総会後、「役員・代議員研修会」が開催されました。講師には、北海道教育大学教育学部 旭川校准教授の渥美伸彦氏をお招きし、45分間のご講話をいただきました。「主体的・対話的で深い学び」の視点を意識したへき地教育の改善・充実に向け、私たちに貴重な示唆を与えてくださいました。概要は次のとおりです。

1 新学習指導要領が志向する教育像

- 「コンテンツ・ベース」から「コンピテンシー・ベース」の教育へ
- 育成を目指す資質・能力を三つの柱で整理

2 「主体的・対話的で深い学び」という授業改善の視点の具体化

～国語科における話し合い指導を窓口にして～

- 「アクティブ・ラーニング」とは
- 国語科における「アクティブ・ラーニング」
国語科で「アクティブ・ラーニング」を実現するためにはどうすればよいか？
※習得・活用・探究の学びの過程を重視させる
- 視点1：話し合いの方法の指導
- 視点2：探究的な学びの具体化

3 教育改革の具体化に向けた経営的課題

～「カリキュラム・マネジメント」の視点から～

- 教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す
「カリキュラム・マネジメント」の実現
- カリキュラム・マネジメントの課題
研修等によりカリキュラム・マネジメントの力量の向上が急務
- 管理職が重視すべきこと

4 へき地教育の改善・充実に向けて



第66回 全道へき地複式教育研究大会 釧路大会

- 研究主題 主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましくふるさとを切り拓く子供の育成
～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に
未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

■ 釧路大会スローガン

タンチョウはばたく釧路の大地から 未来を切り拓く子らに 豊かな心と学力を

■ 大会日程

《1日目》9月21日(木) 全体会場：釧路町公民館(旧遠矢コミセン) 釧路町河畔7丁目52-1
歓迎交流会場：釧路センチュリーキャッスルホテル 釧路市大川町2-5

12:30-13:00	13:00-13:40	13:50-14:15	14:25-16:10	16:30-16:50	移動	18:30-20:00
受付	開会式	基調報告	分散会	閉会式		歓迎交流会

《2日目》9月22日(金) 基本形は下記の通りですが、会場により変更になる場合があります。

8:30-9:00	9:00-9:45	10:00-10:45	11:00-12:00	12:00-13:00	13:00-15:00	15:00-15:30
受付	公開Ⅰ	公開Ⅱ	開会式 研究発表	昼食	研究協議	閉会式

■ 分科会場校一覧

分科会	会場校名 校長番号 電話番号 メールアドレス	研究主題 ～副主題～	分野・課題 教科等
第1分科会	釧路町立昆布森小学校 佐藤健二 0154-63-2013 konbumorisho@town.kushiro.hokkaido.jp	学び方を身につけ、生き生きと活動する子どもの育成 ～自ら考え、交流し、 互いに高めあう複式授業を通して～	学校・学級経営4 学習指導6・7 国語科
第2分科会	厚岸町立太田小学校 中村研自 0153-52-2007 s-oota@town.akkeshi.hokkaido.jp	主体的に学び深く考える子の育成 ～複式学級での国語科・文学教材の 効果的な指導を通して～	学校・学級経営4 学習指導6・7 国語科
第3分科会	浜中町立散布小中学校 水上俊司 0153-67-2324 tirippu@phonenix-c.or.jp	自分の考えを持ち、進んで学び合う授業の構築	学校・学級経営1 学習指導6 全教科
第4分科会	標茶町立沼幌小学校 岩崎等 015-488-4231 office-num@shibechea.ed.jp	自ら考え、粘り強く取り組む子どもの育成 ～自力解決のための態度や能力を高める 個に応じた指導のあり方～	学校・学級経営1 学習指導6 算数科
第5分科会	標茶町立塘路小中学校 須藤加津宏 015-487-2140 office-tor@shibechea.ed.jp	自らの学びを拓き、生き生きと学び通す子どもの育成 ～子どもが予想を立て、 解決の方法を探る展開の工夫～	学校・学級経営3 学習指導6・7 算数科
第6分科会	弟子屈町立奥春別小学校(会場校) 小原正寿 015-482-4819 okushunbetsu@okushou-5.hs.plala.or.jp 弟子屈町立美留和小学校 伊藤賢次 弟子屈町立和琴小学校 鳴海厚	自ら創造的に学び、豊かな心でたくましく 郷土を切り拓く子どもの育成 ～かかわり合いながら、学ぶ楽しさを味わえる 『集合学習』のあり方を求めて～	学習指導8 全領域 (集合学習)
第7分科会	鶴居村立下幌呂小学校 大川英雄 0154-65-2252 simohororo@educet.plala.or.jp	ともに学び合い、一人ひとりが 学びを実感する子どもの育成 ～学びの連続性を生かした授業づくりを通して～	学校・学級経営1 学習指導6 全教科
第8分科会	白糠町立茶路小中学校 鈴木紳一 01547-2-2797 charochu@educet.plala.or.jp	かかわり合いながら学びを深め、 自分の考えを表現できる子どもの育成 ～9年間の系統性を意識した指導を通して～	学校・学級経営4 学習指導6・7 全教科

第67回 全道へき地複式教育研究大会 後志プレ大会

- **研究主題** 主体的・創造的に学び、豊かで心たくましくふるさとを切り拓く子供の育成
～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に
未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～
- **後志大会スローガン**
自然豊かな後志から 夢・希望に挑戦する子らへ 豊かな心と学び続ける力を！
- ◇ **開催期日** 平成29年9月29日(金) 全8会場
- ◇ **大会日程** 基本形は下記の通りですが、会場により変更になる場合があります。

8:30 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 15:00 15:30



受 付	公開Ⅰ	公開Ⅱ	開 会 式 研 究 発 表	昼 食	研 究 協 議	閉 会 式
--------	-----	-----	---------------------------------	--------	------------------	-------------

◇ 会場校及び研究主題等一覧

分科会	会 場 校 名 校 長 名 電 話 番 号 メー ル ア ド レ ス	研 究 主 題 ～副主題～	分 野 ・ 課 題 教 科 等
第1分科会	寿都町立潮路小学校 前田 敦子 0136-64-5003 oshoro@aurens.or.jp	自ら進んで学び ともに高め合う子どもの育成 ～ 複式学級の特性を生かした 算数科授業の構築 ～	学校・学級経営3 学習指導6 算数科
第2分科会	蘭越町立昆布小学校 山本 康博 0136-58-2240 konbushou-school@chime.ocn.ne.jp	主体的に学ぶ子どもの育成を目指して ～ 能動的な学びを実現する指導の工夫 算数科を通して ～	学校・学級経営2 学習指導6・7 算数科
第3分科会	ニセコ町立近藤小学校 古田 統 0136-44-2852 kondo-s@niseko-school.jp	自ら学び 伝え合い 考えを深める子どもの育成 ～ できる喜びを味わわせ、 表現力を養う算数科指導の工夫 ～	学校・学級経営1 学習指導6・7 算数科
第4分科会	真狩村立御保内小学校 丹川 義之 0136-45-3001 ohonai@makkari-school.jp	「表現力」を高める指導の在り方 ～ 相手や目的を意識し、自信をもって 「思い」や「考え」を伝える児童の育成 ～	学校・学級経営2 学習指導7 国語科
第5分科会	喜茂別町立鈴川小学校 中村 和男 0136-33-6302 suzusyo@kimobetsu.ed.jp	基礎・基本を身に付け、 自ら進んで学習する子の育成 ～ 算数科における指導の工夫を通して ～	学校・学級経営1 学習指導6・7 算数科
第6分科会	倶知安町立西小学校 樺山分校 渋谷 順一 0136-22-0988 nishi-kabayama@town.kutchan.lg.jp	確かな学力を身につける授業のあり方 ～ 複式授業のよさを生かし、基礎基本を 大事にした算数科のあり方 ～	学校・学級経営2 学習指導7 算数科
第7分科会	神恵内村立神恵内小学校 増川 佳子 0135-76-5206 jinsyo@helen.ocn.ne.jp	一人ひとりが主体的に取り組み、 関わり合いながら伸びていく子どもの育成 ～ 算数科における問題解決的な学習を通して ～	学校・学級経営1 学習指導6・7 算数科
第8分科会	赤井川村立都小学校 皆川 一海 0135-34-6121 miyasyo-daihyo@heart.ocn.ne.jp	人との関わりを大切に、生き生きと学ぶ合う子の育成 ～ コミュニケーション力を高める 指導の工夫・算数科を通して ～	学校・学級経営2 学習指導6・7 算数科